



令和7年度林業イノベーションハブ構築事業

第1回 専門委員会 森ハブ・プラットフォームの実施・運営

日時 | 令和7（2025）年 7月4日（金） 14:00～16:00

場所 | 日林協会館 3階 大会議室

Web会議「Webex」を併用



一般社団法人 日本森林技術協会

Japan Forest Technology Association

1. 森ハブ・プラットフォームの実施・運営

- 森ハブHPの運営報告 (HP改修)
- PF会員の登録状況等
- PFイベントの開催 (案)
- PF会員のワーキング・グループ設置・運営支援

2. その他 (PF以外の実施概要の状況)

- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の実施概要

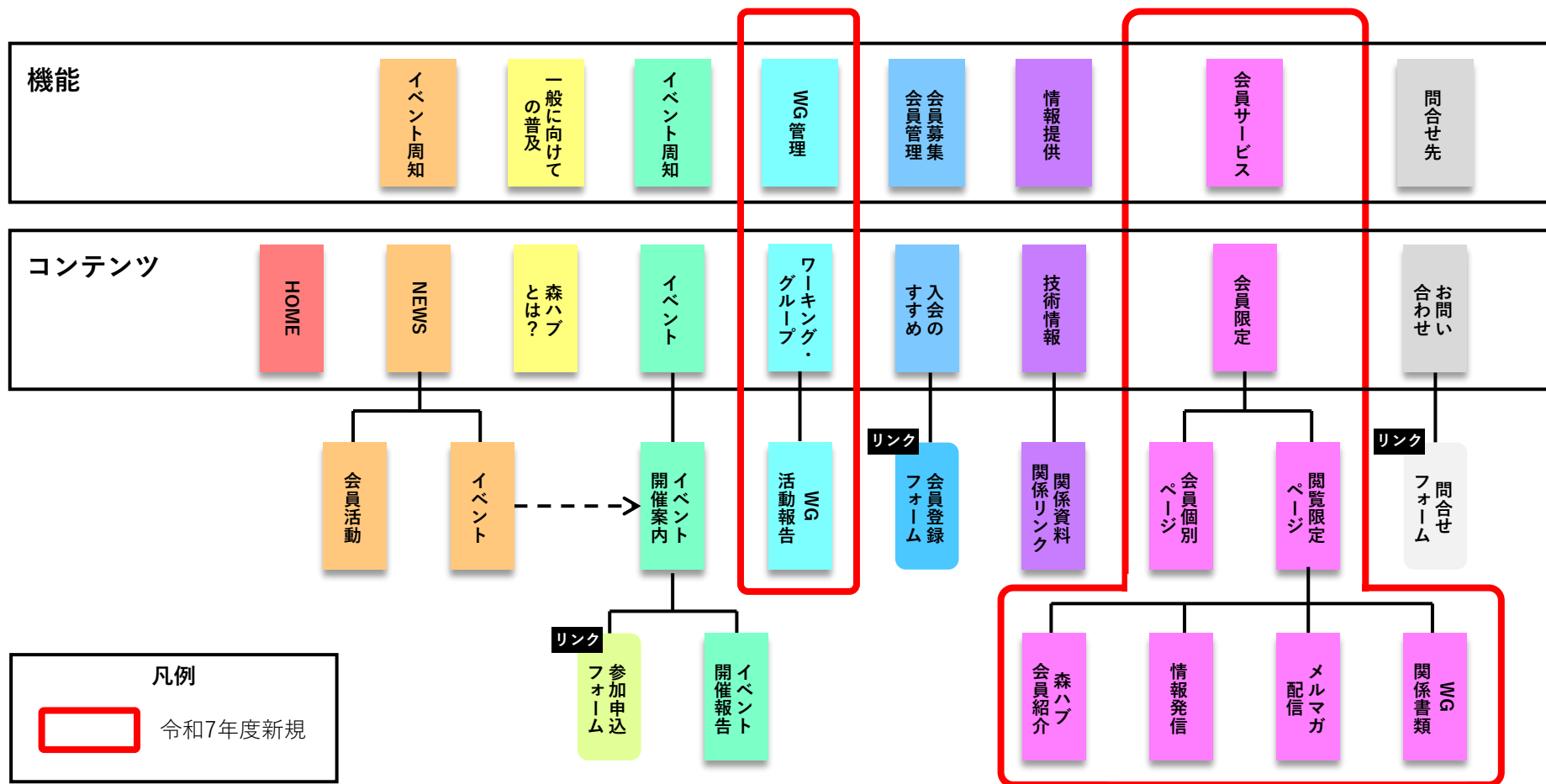
1. 森ハブ・プラットフォームの実施・運営状況（全体像）

- R5森ハブにおいて「森ハブ・プラットフォーム」を設置した。
- R7森ハブでは、設置要領・参加規約（R6.11.22 改正）に基づきながら、下表のとおり取組を実施する。

No	実施内容	概要
1	森ハブHPの更新（改修）	◇ R6年度に林野庁HPから独立した森ハブHPを開設した。 ◇ R7年度は、HPの機能をさらに拡充し、多方面に森ハブやPF（支援機能）を普及周知する。 ➢ PF会員限定の専用ページを構築する。→「OneDrive」以外の仕組み構築へ。 ➢ 事務局が対応・管理していた内容（会員⇄事務局間でメール・会員情報の更新等）を、会員自身で対応するシステムを導入し、事務作業の効率化を図る（不備等の削減）。 ◇ 「技術情報」について、情報収集し、HPを更新する（内容の充実化を図る）。
2	PF会員登録等 会員へのアンケート （ニーズ・シーズ）	◇ 森ハブHPのニュース欄を随時更新し、積極的にPFに係る情報（イベント、WG）を発信する。 ◇ 入会時に会員へ依頼し、任意作成・提出してもらっている「会員紹介シート」を、森ハブHPの更新完了時までは、引き続き、会員限定「情報共有フォルダ（OneDrive）」にて公開する。 ➢ 森ハブHPの更新で、会員限定の専用ページが構築されれば、「会員紹介シート」もHP上で作成できる形式へと移行する。これにより会員紹介シートの回収率が上がることが期待され、内容の充実化にもつながる（不備等の削減へ）。 ◇ PF会員への支援を目的に、メルマガ配信を昨年度に引き続き実施する。 ◇ PFの取組に係る成果を整理するとともに、PF会員の現況を確認し、今後のPFの支援内容等の機能改善や拡充に向けて、会員アンケートを実施する。 ◇ PF会員同士のマッチングの場を創出するため、会員自身に2分程度のPR等の紹介動画を募集し、森ハブHPにて紹介する。 ➢ 会員紹介シートよりも自由度の高い情報発信が行え、交流の促進につながる。
3	イベント開催	◇ 林業と異分野の関係者等のPF会員がつながることができる場を形成し、マッチングを推進するため、R7年度内に2回イベントを開催する。 ➢ 1回目 深掘りイベント（次世代林業経営者のためのビジネスマッチングカフェの開催） ➢ 2回目 一般参加型イベント（シンポジウムの開催）
4	ワーキング・グループの 設置・運営支援	◇ 会員向けにワーキング・グループの設置希望の有無を調査する。 ◇ 設置することとなった場合は、運営支援および会員への情報提供を行う。 ◇ WG設置支援を希望する会員を6月中に募集した。 ➢ 募集した結果、1件の募集があり、審査等は後段で行う。

1-1. 森ハブHPの運営報告（HP改修）①

- 会員登録の申込み手続きや会員情報の管理をHPのシステム上で行えるようにする。
- 会員専用ページを構築し、会員サービスの拡充を行う。



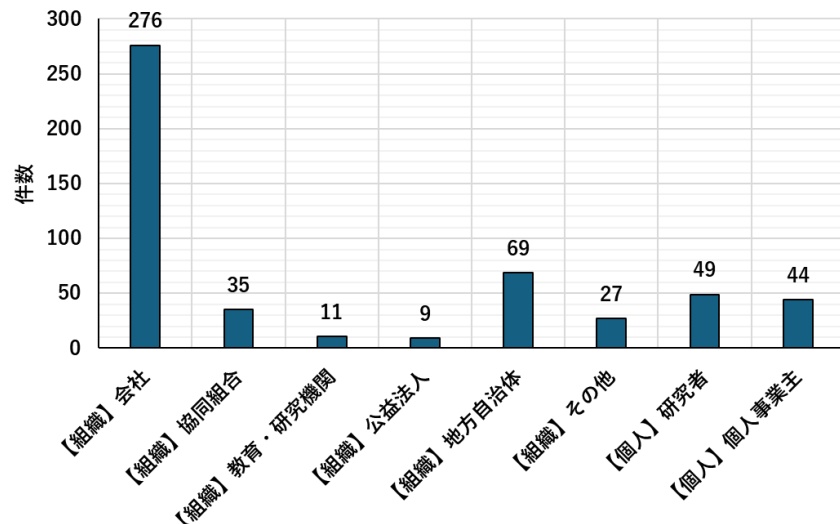
現行は、会員限定のOneDriveにて情報共有

1-2. PF会員の登録状況等① 会員登録状況

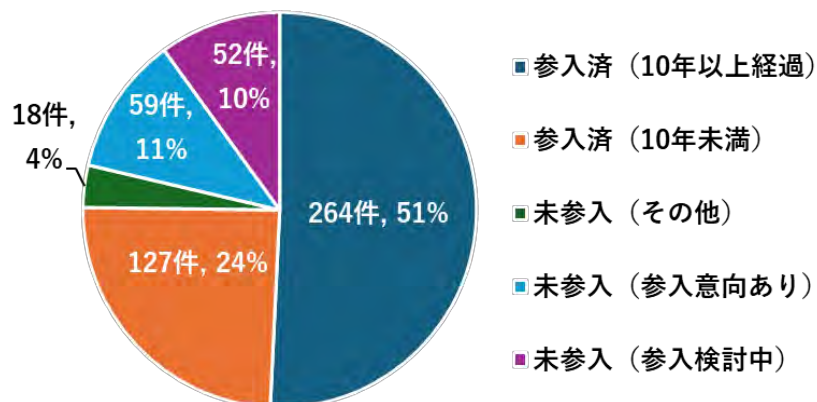
「森ハブ・プラットフォーム」の会員登録等の状況は、下記のとおり（令和7年6月16日時点）。

会員数 520 者（2025年6月16日時点）

会員の事業形態



会員の森林・林業分野への参入状況

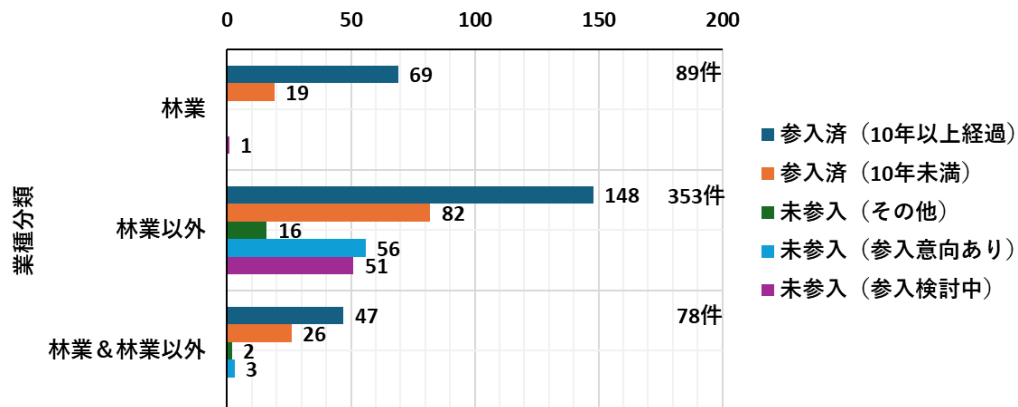


全会員の業種（複数回答）

業種	件数
林業	325
林業支援サービス業	121
農業・漁業	10
鉱業	2
建設業	44
製造業	88
電気・ガス・熱供給・水道業	11
情報通信業	42
運輸業・郵便業	2
卸売業・小売業	24
金融業・保険業	9
不動産業・物品賃貸業	10
学術研究・専門・技術サービス業	81
宿泊業・飲食サービス業	3
生活関連サービス業・娯楽業	6
教育・学習支援業	14
医療・福祉	1
その他サービス業	68
公務	83
その他	21
総件数	965

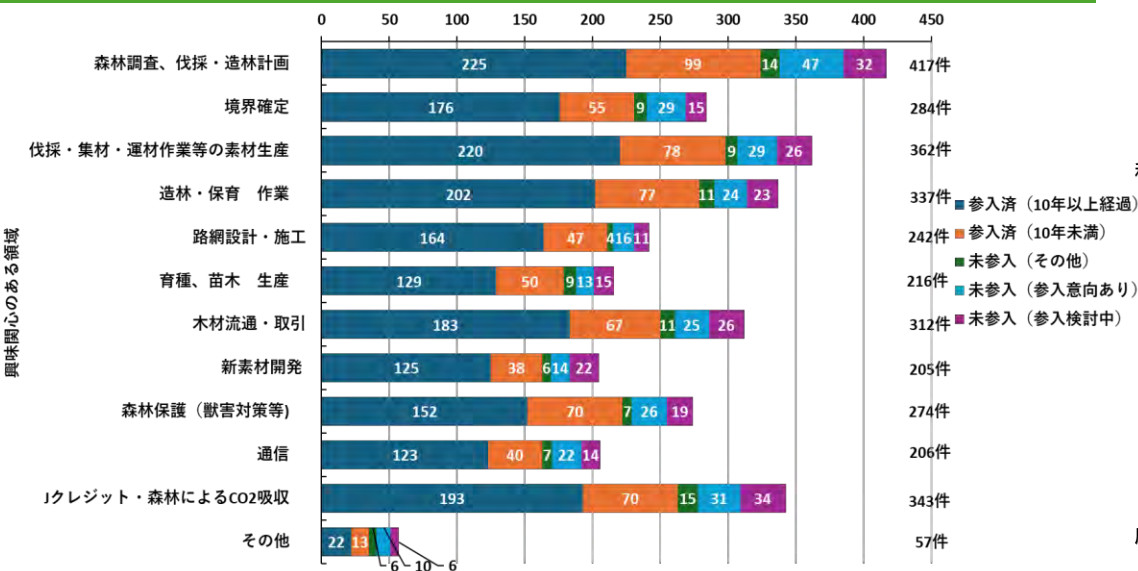
1-2. PF会員の登録状況等② 会員登録状況

会員の参入状況と業種分類

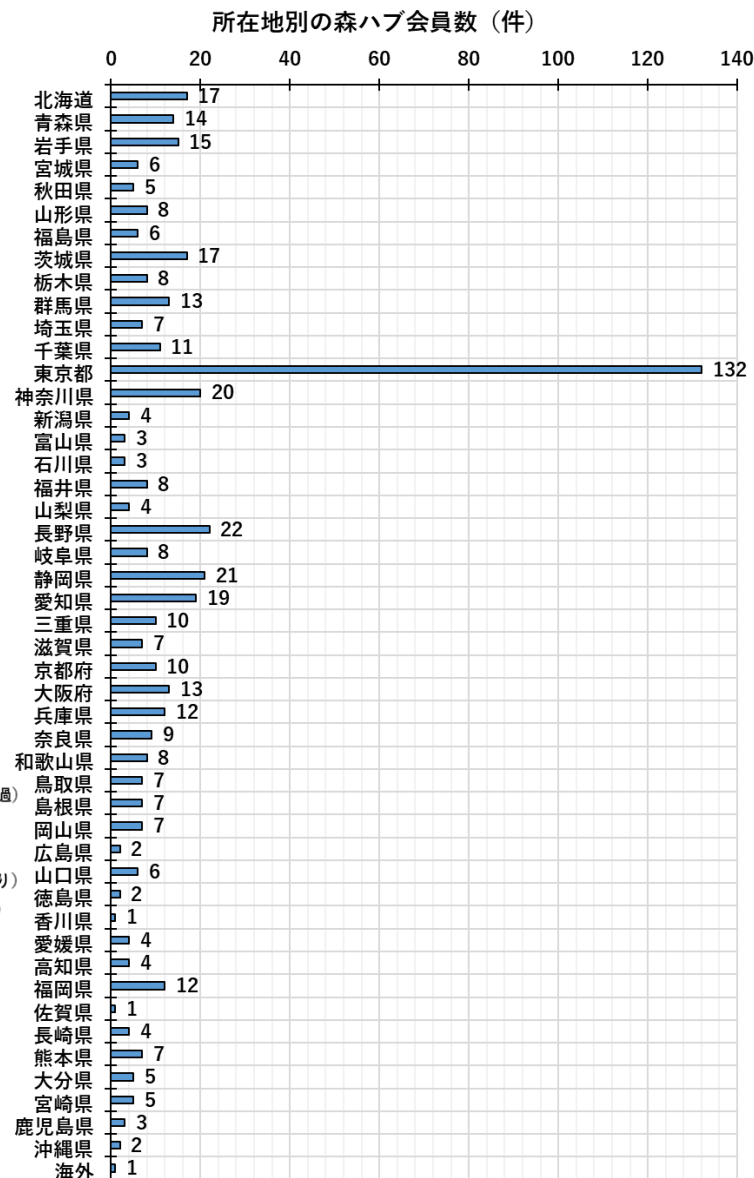


注：「林業」は業種が「林業（XXX）」のみ。「林業以外」は業種が「林業（XXX）」が含まれない。「林業 & 林業以外」は、業種が「林業（XXX）」「林業以外」が含まれる。

森林・林業分野への参入状況と興味関心のある領域（複数回答）



所在地別の会員数



1-2. PF会員の登録状況等③ メルマガ配信

- PF会員間の交流促進・情報提供の場の創出に向けて、森ハブ事務局では月1～2回程度のメルマガジンの配信（メルマガ配信）を昨年度に引き続き実施する。

■ 情報提供の質と安全性、公平性を確保するため、一定のルールを設けた（昨年度から変更なし）。

メルマガ配信ルール

(1) 掲載対象とする情報

1) 情報の種類（以下のいずれか）

- ・ イベント、講習会等のお知らせ
- ・ 補助金、表彰等の募集
- ・ 林業イノベーションに資する製品・サービスに関する情報や導入成果
- ・ ワーキング・グループ関係のお知らせ

(2) 情報の内容（以下を満たすこと）

- 1) 森ハブ・プラットフォームの設置趣旨に合致しているもの
- 2) 情報量が一定の制限を超えないもの（文字数、添付ファイル制限等）
- 3) リンク先URLを貼り付ける場合、直接ダウンロードするものでないこと

(3) 掲載できないもの（以下のすべてが当てはまらないこと）

- 1) 第三者の著作権、特許権その他の権利を侵害するおそれのある情報コンテンツ
- 2) 営利が主たる目的と判断される情報
 - ・ 期間限定での値引き情報、新商品のリリース情報、自ら執筆した書籍紹介
- 3) 森ハブPFのメルマガにふさわしくないもの
 - ・ 森林・林業に関する既存の技術や方法に関する情報で、林業イノベーションやスマート林業にあたらないもの、特定の個人又は法人を誹謗中傷するもの、公序良俗に反する恐れがあるもの

◇-----◇-----◇-----◇

1.【森ハブ PF】森ハブ会員情報提供 No.1

会員 東洋エンジニア株式会社
担当 ドローン事業部
連絡 [REDACTED]

東洋エンジニア株式会社は全国森林組合連合会からの委託事業として、スマート林業実装に向けた【「緑の雇用」事業「ドローン研修デジタル技術スキルアップ研修」】を開催します。

③ 岐阜会場（11月26日～28日）（①岩手会場、②福岡会場は終了）

【テーマ】 林業におけるドローンの先進的利活用を促進させることを目的に本研修を実施

【日時】 ③岐阜会場 2024年11月26日13:00開始 11月28日12:00終了

【場所】 岐阜県大垣市上石津町一之瀬1590 旧一之瀬小学校

【受講対象者】 「令和6年度「緑の雇用」事業における登録経営体に雇用されている方、かつ研修受講後、現在所属している経営体に5年以上就業できる方」

【受講料】 無料（旅費等は参加者負担）

【緑の雇用ドローン研修】 <https://keiji-drone.jp/other/post/744/>（ドローン研修案内HP）

【ご案内】 「緑の雇用」事業 ドローン研修開催ご案内（PDF）

【案内チラシ】 「緑の雇用」事業 ドローン研修案内（PDF）

【受講申込】 こちらから[▶受講申込みフォーム](#)（Googleフォーム）
なお、③の受講申込は11月15日締め切りです。

◇-----◇-----◇-----◇

1.【森ハブ PF】森ハブ会員情報提供 No.3

会員 株式会社JVCケンウッド
担当 国内無線システム営業部 事業開発グループ
連絡 [REDACTED]

携帯電波圏外で音声＆データ通信ができるハイブリット通信ソリューション！

▼ご紹介①▼ ☆☆☆[Soko-co(スタンダード版)]/☆☆☆☆
電波圏外での基本通信機能のみ対応することで低価格★
業務用無線機が発信する位置情報を利用するため、班長のみがスマホを保持し、伐倒者は無線機のみを携帯！
管理サーバーも使わないためランニングコストも安いのが特徴☆☆☆☆
→ [Soko-ko] [soko-co-プロ仕様の近距離オフライン通信パッケージ「ノコ」](#) (HP)

▼ご紹介②▼ \[Soko-co Forest(林業特化版)]/☆☆☆☆
林業向けの林小班界表示や危険エリアアラート機能など、様々な知見を投入したハイエンドモデルのソリューション☆
多くの県や県森連、林業大学等にて実証を行って頂いており、業務効率改善、災害予防に役立つと高い評価を得ております★☆☆
→ [YouTube] <https://www.youtube.com/watch?v=zh0axj1wcQM>

図 メルマガ配信内容の例示（抜粋2件）

1. 森ハブ・プラットフォームの実施・運営状況

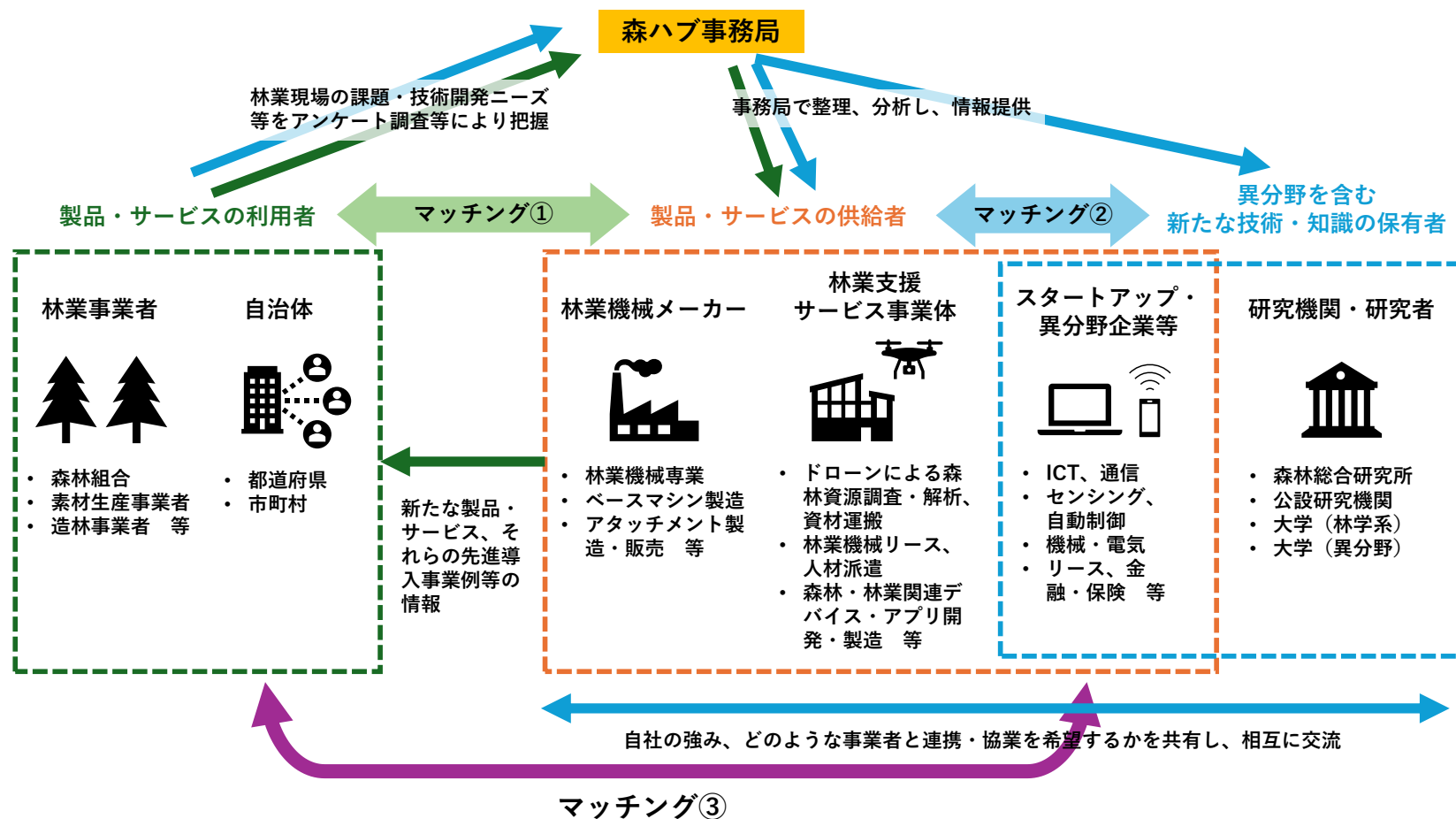
- 森ハブHPの運営報告 (HP改修)
- PF会員の登録状況等
- PFイベントの開催 (案)
- PF会員のワーキング・グループ設置・運営支援

2. その他 (PF以外の実施概要の状況)

- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の実施概要

1-3. PFイベントの開催（案）① マッチングについて

- 森ハブ・プラットフォームで目指すマッチングのイメージを念頭に置き、**林業×異分野SU、企業等の会員がつながることができる場を形成し、マッチングを推進**する。
- 年度内に2回イベントを開催する。
 - 【マッチング③】 深掘りイベント：次世代林業経営者向けマッチング・ワークショップ 10月予定
 - 【マッチング①・②・③】 一般参加型イベント：シンポジウム 2月予定



1. 森ハブ・プラットフォームの実施・運営状況

- 森ハブHPの運営報告 (HP改修)
- PF会員の登録状況等
- PFイベントの開催 (案)
- PF会員のワーキング・グループ設置・運営支援

2. その他 (PF以外の実施概要の状況)

- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の実施概要

1-4. PF会員のワーキング・グループの設置・運営支援②

目 的 等

- 森ハブ会員同士の情報交流を深めるため、ワーキング・グループ（WG）設置を募集する。
 - 森ハブ事務局にて審査の上、**採用されたWGについては、以下の支援**を行う。
 - 森ハブHPやメールマガジンにおいてWG開設の案内、参加者募集のお知らせを行います。
（なお、参加者の応募先等はWG運営者としてください）
 - 森ハブHPやメールマガジンにおいてWG開催結果の報告を行います。
（なお、報告文書（所定様式あり）はWG運営者にて作成をお願いいたします）
 - 森ハブHPやメールマガジンの掲載内容は事務局で確認後掲載されます。
- ※ その他のWGの運用は、運営責任者が中心となり、実施していただきます。

応募期限 令和7（2025）年6月20日（金）まで

採用連絡 令和7（2025）年7月中にメールにて連絡

今年度は本期間のみ、
WG設置対応とした。

採用条件（審査項目）

- (1) 運営責任者及び参加メンバーが森ハブ会員であること。
- (2) 森ハブの設置要領・参加規約に則った取組みであること。
- (3) 林業の安全性と生産性の飛躍的な向上を図るために必要な新技術の開発と現場実装に役立つ特定のテーマを取り扱う取組みであること。
- (4) 令和7年度中に2回以上は開催し（オンラインでも可）、報告文書を提出すること。

1. 森ハブ・プラットフォームの実施・運営状況

- 森ハブHPの運営報告 (HP改修)
- PF会員の登録状況等
- PFイベントの開催 (案)
- PF会員のワーキング・グループ設置・運営支援

2. その他 (PF以外の実施概要の状況)

- デジタル分科会の実施概要
- 安全対策検討会の実施概要

2-1. デジタル分科会の実施概要① デジタル林業戦略拠点に係る伴走支援

□ R7森ハブでは、**過年度と同様に「デジタル林業戦略拠点」取組地域（デジ林3地域）へコーディネータを派遣**する。

- **デジタル技術の現場実装や自立的な進展が可能となるように促し、R8年度の自走化を目指す。**
- **林業のデジタル化を他地域に展開する方策（伴走支援ツール・現地ワークショップ）を検討**する。

【森ハブ】林業イノベーションに係る課題・技術情報の整備や、必要な支援機能の検討を実施

■ デジタル分科会委員 ※過年度から変更あり（強調）

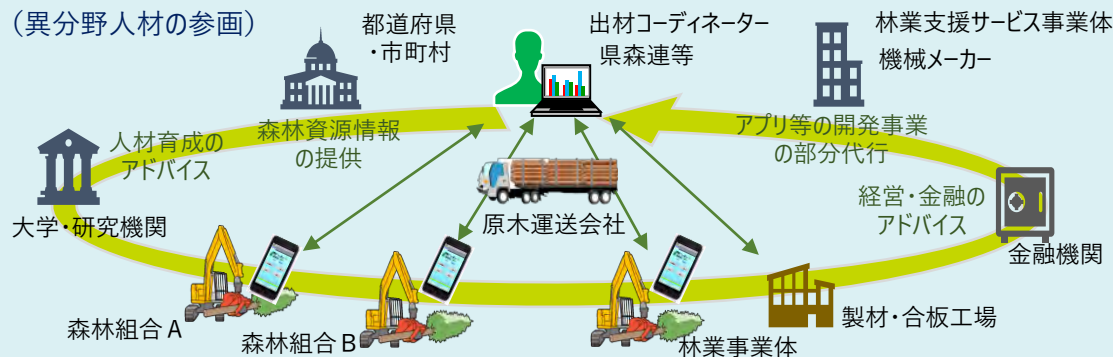


氏名	所属・役職
伊呂原 隆	上智大学 理工学部 情報理工学科 教授（副学長）
御田 成顕	森林総合研究所 林業システム研究室 室長
（鹿又 秀聡）	森林総合研究所 林業システム研究室 主任研究員
高橋 伸幸	群馬県森林組合連合会 総務部長
中澤 昌彦	森林総合研究所 収穫システム研究室 室長

【コーディネーター】

【地域コンソーシアム】

（異分野人材の参画）



R7 デジ林の概要（実施項目）

- 地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する取組
- 地域全体で、森林調査から原木の生産、流通に至る林業活動にフル活用する「デジタル林業」の実践・定着
 - 多数のプレイヤーが参加し、地域全体で自立的に技術やシステムの改良を行いながら、デジタル林業を実践

2-1. デジタル分科会の実施概要② デジタル林業戦略拠点採択3地域

□ デジタル林業戦略拠点採択3地域は、**昨年度から継続で採択し、北海道・静岡県・鳥取県の3地域**である。

コーディネーター派遣・派遣同行

森ハブ事務局

R7 コーディネーター
中澤 昌彦 氏(継続)
 森林総合研究所
岡田 広行 氏(継続)
 住友林業株式会社
北海道地域 ICTハーベスタ

R7 コーディネーター
高橋 伸幸 氏(継続)
 群馬県森林組合連合会
静岡地域 需給マッチングシステム

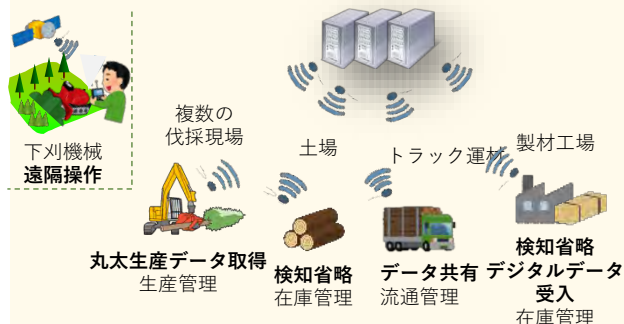
R7 コーディネーター
御田 成顕 氏(新規)
 森林総合研究所
鳥取地域 トレーサビリティシステム

スマート林業EZOモデル構築協議会

取組

- ・ICTハーベスタで得た丸太生産情報をクラウドに集積
- ・素材生産→集運材→製材工場の流通にデータ利用
- ・各段階の丸太検知を省力化
- ・遠隔操作機械を活用した下刈の省力化 等

造林・育林 → 素材生産 → 集材 → 運材 → 工場納材



静岡県東部地域デジタル林業推進コンソーシアム

取組

- ・土場の丸太情報をアプリで取得しシステムに集積
- ・土場→集運材→合板工場等の流通にデータ利用
- ・各段階の丸太検知、合板工場の納品管理を省力化
- ・伐採区域をGNSS測量し森林調査を省力化 等

森林調査 → 素材生産 → 集材 → 工場納材



鳥取県デジタル林業コンソーシアム

取組

- ・原木・製品の需給データの集積・共有
- ・素材生産→原木市場→製材工場→プレカット→工務店等の流通にデータ利用、トレーサビリティの事務手間を削減
- ・林業従事者の施業プラン・作業日報をデジタル化 等

素材生産 → 原木市場 → 製材工場 → プレカット → 工務店



2-1. デジタル分科会の実施概要③ デジタル林業戦略拠点の横展開

- R8年度からの横展開に向けて、「デジタル林業戦略拠点」3地域への伴走支援体制のスキームを活用し、コーディネータ派遣による伴走支援を実施することを想定している。
 - R7年度の成果として、森ハブ事務局において地域の課題抽出・進捗確認等のコーディネーターが活用する伴走支援ツールを精度向上し、デジタル林業戦略拠点づくりガイドブックを作成する。

伴走支援ツール④
デジタル林業戦略拠点づくりガイドブック

伴走支援ツール① スマート林業・DX実践のための進捗度チェックリスト

- ・ 地域の現状を分析し見える化することで、地域の現状と目標に対する認識を共有
- ・ 構成員間での認識合わせや地域を支援するコーディネーターによる第三者視点での確認にも活用
- 組織体制、活動内容の側面において、地域が次に取り組む内容を具体化

伴走支援ツール② 導入効果算定（導入効果額算定表）

- ・ デジタル技術活用による費用と効果を整理し、採算のとれるラインを可視化、デジタル導入費用の目安に活用
- ・ デジタル技術の導入による効果の影響範囲を特定し、各論の合意形成に活用
- 実証結果に基づく導入効果の算出により地域の現状把握や導入後の効果検証が可能

伴走支援ツール③ 導入効果算定（サプライチェーン指標）

- ・ 日報や配車手配アプリ、SCMシステム等のデジタル技術が活用される地域で低廉なコストで、在庫量の把握が可能になり、川上から川下までサプライチェーン全体の指標としてサプライチェーンの改善（最適化）に向けたPDCAに活用
- 指標の算出によりサプライチェーンの現状の把握や導入後の効果検証が可能

成果

- ・ 地域づくりへの道すじ（合意形成や技術導入・普及の行程など）
- ・ 各種伴走支援ツールの使い方
- ・ 先行事例に学ぶ成功へのヒント

2-1. デジタル分科会の実施概要④ 第1回デジタル分科会の実施（概要）

日程 令和7（2025）年6月18日（水）10:00～12:00 **会場** 日本森林技術協会 3階 大会議室
（Web会議「Webex」併用）

- 次第**
- (1) 事業の実施概要
 - (2) デジタル林業戦略拠点づくりガイドブックのあらまし
 - ・ デジタル林業戦略拠点の横展開
 - ・ デジタル林業実践事例調査および分析
 - ・ デジタル林業における伴走支援ツール
 - (3) 現地ワークショップの開催概要（案）

参加者 【委員等】 中澤委員（座長）、御田委員、高橋委員
岡田 広行 氏（アドバイザー、住友林業株式会社）
【デジ林3地域】 北海道地域、静岡地域、鳥取地域
【事務局】 林野庁、日本森林技術協会



写真 第1回デジタル分科会 開催風景

指導・助言、意見等（抜粋）

項目	内容
デジタル 林業戦略 拠点づくり ガイドブック のあらまし	デジタル林業における伴走支援ツール □ （チェックリスト）コーディネーターとして派遣された際は、チェックリストの作業を行う（昨年度の結果や最終年度である今年度の採点について話し合う機会を設ける）と理解した。 □ （導入効果算定表）コストの考え方を人件費で検討しているが、人件費等で表現できないものについては定性的な評価が必要になる。 □ (サプライチェーン指標)在庫回転率等、一般的な物流の理論は林業では考えられてこなかったため、林業の現場に持ち込めるのかについて、まずはやってみようということを進めてほしい。最終的には、山土場の在庫回転率だけでなくサプライチェーン全体で見る必要がある。

2-2. 安全対策検討会の実施概要①

■ 1-1. 趣旨

- 近年、林業の安全性及び生産性の向上を目指して林業機械の自動化・遠隔操作化が推進され、遠隔操作技術は実用化段階にあり、自動化技術は実用化に近い開発段階に至っている機種がある。

一方で、これらの技術により新たなリスクが生じる可能性があることから、「林業機械の遠隔操作・自動運転に関する安全対策検討会」を設置して適切な安全対策等について検討し、新たな情報を追加しながらガイドライン等を更新する。

■ 1-2. 本検討会の位置づけ

- 林業機械の自動運転・遠隔操作に関する安全対策のガイドラインの作成を目指し、関係者が一堂に会し合意の下にガイドライン案を作成するために設置（事業期間内に検討会を3回実施予定）

■ 1-3. 事業内容

- ガイドラインの自動運転林業機械パートの骨子を作成
 - ✓ 自動運転技術のレベル区分や必要な安全機能等を検討
 - ✓ R8年度末に自動運転の内容を追加してガイドライン改定を目指す

2-2. 安全対策検討会の実施概要②

■ 検討会の構成員

□ 学識経験者や林業機械メーカー等から選定

構成区分		人数	構成員・所属等
委員	学識 経験者	4名	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 林業工学研究領域 研究専門員 陣川雅樹
			国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 林業工学研究領域 収穫システム研究室 室長 中澤昌彦
			森林利用学会 副会長 岩岡正博
			独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ 部長 斎藤剛
	関係 団体	4名	一般社団法人林業機械化協会 専務理事 石井晴雄
			全日本森林林業木材関連産業労働組合連合会 書記次長 天田寿
			全国素材生産業協同組合連合会 副会長 佐藤総栄
			全国森林組合連合会 担い手雇用対策部長 淡田和宏
	林業 機械 メーカー	5名	イワフジ工業株式会社 開発部電気課 課長 舞草秀信
			株式会社前田製作所 産業機械本部技術部設計課 副課長 中園豪気
			株式会社諸岡 営業本部営業統括部 担当部長 中島真二
			魚谷鉄工株式会社 技術ブロック 取締役 飯澤宇雄
			松本システムエンジニアリング株式会社 代表取締役社長 松本良三
	林業 事業体	1名	株式会社堀江林業 取締役専務 堀江慶佑
団体		1名	林業・木材製造業労働災害防止協会 教育支援課長代理 秋岡陽一郎
行政			厚生労働省 労働基準局 安全衛生部安全課 建設安全対策室（調整中）
			林野庁 森林整備部整備課（調整中）
			林野庁 林政部経営課 林業労働・経営対策室（調整中）

2-2. 安全対策検討会の実施概要③

- 【参考】ガイドラインの公開状況※林野庁ホームページに以下の情報を公開
- 「林業機械の遠隔操作に関する安全性確保ガイドライン～Ver.1.0」
- 「林業機械の遠隔操作に関する安全性確保ガイドライン～Ver.1.0の概要」
- 別添様式_災害・事故・故障等の連絡票



ガイドライン表紙



ガイドライン概要

林業機械の遠隔操作に関する安全性確保ガイドライン 別添様式

災害・事故・故障等の連絡票

報告先	
報告日	
作成者	会社名等 氏名 電話番号
災害等の発生日	
発生場所	
故障種別	☐ 壊死 ☐ 断電 ☐ 断油 ☐ その他()
作業種別	☐ 伐倒 ☐ 木割 ☐ 運材 ☐ 薪割製材 ☐ 集材機等 ☐ 搬送等 ☐ その他()
使用機械	
被害等の状況	人的被害: その他の被害:
原因	(考えられるもの、推定していただくもの)
今後の対応	(リモコンシステムの取組や保護装置の改善などを示す)

別添様式 災害・事故・故障等の連絡票

※林野庁ホームページより <https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/morihub/morihub.html>